

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和3年 7月 13日

事業所名: 放課後クラブぴのきお かわの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2	4	1	・2～3部屋に分かれて支援する事が出来れば適切だと思う。 ・人数に対して窮屈な時がある。 ・学年の大きい児童が多いと、スペースが狭い事がある。	31	6	0	1	・少し狭さを感じた。	・各部屋を有効に使用し、スペースの確保を行っている。今後も対応を検討していく。
	2 職員の適切な配置	2	2	3	・1の事を行うには人数が足りない。 ・安心/安全な支援の為、もう少し職員を確保できると良い。	28	5	0	5	・利用人数による。	・利用児童に合わせて、職員を配置するよう対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	5	0	・各個人に対しては、行き届いていない所があると感じる。 ・バリアフリー化までは出来ていないが、危険個所の把握をし環境整備を行っている。	30	4	0	4		・今後、必要な児童に対しては、検討し対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	3	0	・目に付いた片付けされていない物は片付けているが、十分ではないと感じる。	31	3	0	4	・お迎えに行く事が減ったので分からない。	・玩具の消毒や心地良さ等の対応を常に心掛けている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6	1	0	・全職員に対して理解周知し、参画していく。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	5	2	0	・コンサルタントはいるが、完全な第三者による評価はされていないと思う。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	1	0	・コロナ禍により回数は減っている。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1	0	・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成している。	37	0	0	1		・今後もアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	6	1	0	・子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載するようにしている。	36	2	0	0		・定期的にあセスメントを行い、保護者や児童の思いを具体的に盛り込む計画の立案や設定を心掛けている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1	0	・個別活動と集団活動を組み込んだ計画の作成をしている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6	1	0	・時間が短い時は、難しいと感じる事がある。	36	1	0	1	・常に個々の計画に沿った支援に努めていく。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	0	0		/	/	/	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	1	0	・少し固定化していると感じられる。 ・同じものでも日によって内容を少し変えるなど、児童を飽きさせないように工夫している	35	2	0	1	・色々な活動に目標を持って挑戦出来るプログラムを提供していく。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	1	0	・スムーズに活動できるよう、スケジュールを組み立てている。	/	/	/	/		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7	0	0		/	/	/	/		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	7	0	0		/	/	/	/		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	7	0	0		/	/	/	/		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	1	0	・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。	/	/	/	/		
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	1	0	・児童発達支援管理責任者及び、主任支援員が参加するようにしている。	/	/	/	/	
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	1	6	・重症心身障害児に関しては、保護者との連絡や情報共有を主に行っている。しかし、関係機関とは十分ではないと思う。	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	1	6	・重症心身障害児に関しては、保護者との連絡や情報共有を主に行っている。しかし、関係機関とは十分ではないと思う。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	3	1	・担当者会議等に参加し、情報共有している。 ・一人一人の十分な情報共有が出来ているとは言い難い。もう少し、深い所まで共有していく事が出来ればと思う。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	2	1	・モニタリングや担当者会議にて、情報共有する事を心掛けている。 ・一人一人の十分な情報共有が出来ているとは言い難い。もう少し、深い所まで共有していく事が出来ればと思う。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	1	1	・研修等があれば、受講するようにしている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	2	4	・コロナ禍であり、現状難しい状況である。今後、そのような機会を作っていきたいと思う。 ・外出イベントを控えている為ない。	9	4	5	20	・活動はあるが、話す事は出来ない。	・現時点での交流は難しい。今後も継続して検討を行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	2	4	・コロナ感染予防で、招待できない。今後、そのような機会を作っていきたいと思う。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	0	0		37	1	0	0		・今後も継続して、丁寧な説明が出来るように努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	1	0	・丁寧な説明をするよう努めている。	36	2	0	0		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	2	1	・ペアレント・トレーニングまでは及んでいないと思う。もっと知識を付けていく事が必要だと思う。	17	6	3	12		・日々の報告を行うことで情報の共有ができるように努めているが、ペアレントトレーニングを行うことまでは至っていない。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	7	0	0		35	3	0	0	・送迎時等、コミュニケーションの時間を大切にしている。常に情報共有を行う事が出来るように努めていく。
	5	6	1	0	・相談される事が少ない。	31	3	1	3	・常に話しやすい環境作りが出来るように努めている。 ・また、信頼関係を図っていく。
	6	0	4	3	・年に1回、保護者会は開催するようにしている。現在、コロナ禍で開催が出来ていない。	9	6	10	13	・現時点での保護者会開催は難しい。今後も継続して、参加型の保護者会を検討している。
	7	6	1	0	・子どもや保護者からの苦情について、遅れる事無く対応するように努めている。	21	3	0	14	・その都度、職員と話し合いを行い改善に努めている。
	8	7	0	0		35	2	0	1	・ノートや電話連絡、送迎時でのコミュニケーションを図り、今後も情報共有が出来るように努めていく。
	9	5	2	0	・定期的に会報等を発行している。具体的な連絡等が遅れる事があるので、早めに対応していきたい。	32	2	0	4	・毎月ホームページの更新や通信(活動予定表/活動報告)を配布し、情報を発信している。今後も継続していく。
	10	7	0	0		36	1	0	1	・個人情報書類の取り扱いに関しては、十分に気を付けている。
非常時等の対応	1	6	1	0	・周知しているものとそうでないものがある。	24	5	1	8	・保護者への周知は行う事が出来ていない。周知出来るよう方法を検討していく。
	2	6	1	0	・定期的に行っている。	24	1	0	13	・実施回数を増やしてほしい。 ・時々されていると思うが、月1回とかもう少し頻度を多くしてもいいかなと思う。 ・年2回以上の訓練の実施は行っている。実施回数に関しても検討していく必要がある。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6	1	0	・定期的に行っている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6	1	0	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載している。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1	0	・指示書はないが、保護者から聞いた物は提供しないようにしている。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	0	0							











